



●発行 垂井町役場
〒503-2193
岐阜県不破郡垂井町1532番地の1
☎(0584)22-1151代
●編集 企画調整課
●ホームページアドレス
http://www.ginet.or.jp/tarui/



地域の中で
できることは何だろう

不破中学生が、地域の人を繋ぐ防災マップ作りを開始

2013年1月11日

●平成25年 成人式 2~3
●願いはひとつ 火災のない年に 4
●町県民税・所得税申告はお早目に 6~7

●情報発信 8~15
●まちの話題 16

1月7日(月)◆ 七草がゆで無病息災◆

1月7日(月)、毎年恒例「七草がゆの振る舞い」が保健センターで行われ、町食生活改善推進員が調理した特製の七草がゆ約800食が振る舞われました。◆
七草がゆの中には、同会員が摘み取ったセリやナズナなどのほかに焼き餅と梅干しが入っています。毎年楽しみに訪れる家族連れは「今年もおいしかった」と微笑んでくれました。◆

◆川瀬修三さん、大崎くん、邦子さん、垂井



1月11日(金)◆ 不破中学生が防災マップづくり◆



1月11日(金)、不破中の全校生徒654人とNPO法人「大垣防災支援ネットワーク」8人が地域の防災マップづくりを行いました。これは、前生徒会長の鹿野一立さんが、昨年、岩手県釜石市で行われた「全国生徒会サミット」で被災地の現状を知り「自分たちの地域の中で何かできることはないか」と先生に働きかけて実現した取組。◆
約100班に分かれた生徒たちは、同ネットワーク代表の種田昌克さんの指導のもと、避難経路の作成で参考となる道路・公園・空き地・水路などを色分けして書き込みました。現生徒会長の井澤宏太さんは「地域の防災について自分たちで調べて、地域の防災マップを作りたい。併せて地域の人を繋ぐきっかけになればいい」と話しました。◆

1月17日(木)◆ 垂井町から初の直木賞作家が誕生「朝井リョウさん」◆



1月16日(水)に第148回芥川、直木賞の選考会が行われ、表佐出身の朝井リョウさん(23歳)の著書「何者」が直木賞を受賞しました。朝井さんは歴代受賞者の中では戦後最年少で、初の「平成生まれ直木賞作家」となりました。◆
昨年に続きノミネートを受け、候補2回目での受賞です。◆

本好き一家の中で育ち、お姉さんとよくタリビピアセンターを利用してくださったというリョウさんは、作家になる夢を現実のものとし、着実に歩みを進められています。◆

17日(木)町長は実家を訪れ、母親の佐々井恵子さんに、町を挙げてお祝いしたいと伝えました。◆



▲町内5箇所に横断幕や懸垂幕でお祝い◆